

研究通信

No. 103
1976年8月刊
村落社会研究会
研究局

山形大学人文学部
日本経済史研究室
(山形市小川町)

第二四回大会プログラムについて

さる七月三日(土)の第四回研究会(関東地区)終了後に開かれた合同委員会において、第二四回大会のプログラムをつぎのように決定した。なお、委員会の出席者は、柿崎京一(宇都宮大学)・島崎稔(中央大学)・高橋明善(東京農工大学)・中野卓(東京教育大学)・似田貝香門(山梨大学)・長谷川宏二(農林省農業技術研究所)・安原茂(成蹊大学)・山本陽三(山口大学)・吉沢四郎(中央大学)・岩本由輝(山形大学)事務局)の一〇名。

【第一日目 一〇月一四日】

自由報告(報告四五分・質疑一五分)

午後一〜二時 飛騨白川村「大家族」と門屋について

宇都宮大学 柿崎京一

二〜三時 都市近郊農村の農民の組織に関する研究

愛知教育大学 星 永俊

宮城学院女子大学 多々良 翼

三〜四時 農業改善事業と生産組織の展開

東北大学 佐藤 勉

四〜五時 ネパールのむらと農民生活

東京女子大学 山本英治

五〜五時三〇分 総会(委員改選)

△休憩・入浴など▽

六時三〇分 懇親会

【第二日目 一〇月一五日】

午前九〜一〇時 集落のもつ基本的機能——土地保全(仮題)

島根大学 安達 生恒

共通課題(報告五〇分、質疑一〇分)

村落生活の変化と現状

——農民にとっての生活破壊とは何か——

農林省農業総合研究所 内山 政照

慶応義塾大学 高山隆三(交渉中)

東京学芸大学 蓮見 音彦

司会

一
午前10～11時

北海道大学 布施 鉄治

北見工業大学 白 櫻 久

札幌大学 酒井 恵真

二 △ “生活破壊”を阻むもの▽

午前11～12時 山とイエ — 熊本県失部町の場合 —

山口大学 木下 謙治

△昼食▽

午後1～2時 ムラと学校 — 岡山県大佐町の場合 —

岡山大学 米村 昭二

午後2～3時 ユヒと生産組織 — 岡山県総社市美地区の場合 —

山口大学 山本 陽三

三

午後3～4時 中央大学 島崎 稔

△休憩▽

午後4時30分～6時 討論

△夕食▽

【第三日目 11月16日】

午前9～11時 討論

11～12時 フリー・ディスカッション

△散会▽

九月に入ると、山口大学より大会参加人数を確定するためのアンケートが送られるので、折返し御返事されたい。